

# 令和2年度 アグリふくしま革新技术加速化推進事業 専門別実証課題・実証ほ設置箇所一覧

令和2年4月  
農業振興課



## 野菜



①県中 ②県南

UVB照射によるいちごうどんこ病の防除体系の確立  
【効果】防除回数慣行の1/2



いちごの複合環境制御による生産安定  
【効果】単収20%向上



キャベツ等の高性能機械利用による大規模生産体系の確立  
【効果】移植作業時間50%削減  
収穫作業時間30%削減



ナス、アスパラガスの日射制御型自動灌水装置導入による生産安定  
【効果】単収20%向上



ほ場管理システムによる生育及び防除時期把握による生産安定(タマシ)  
【効果】単収20%向上



水稲育苗ハウス等を利用した移動式簡易養液システムによる安定生産(ミトマ)  
【効果】新たな経営部門の確立



## 花き

⑤県中 ③会津 ④会津坂下 ⑥双葉

夏秋トルコギキョウと低温開花性花き(カスミウ・カパニユ)の組み合わせによる周年生産  
【効果】秋~初夏の販売額向上



低温開花性花き + 電照



⑦伊達 ⑧須賀川

電照栽培による夏秋小ギクの効率的生産  
【効果】販売単価15%向上



電照

目標出荷日から逆算して消灯

需要期に開花・出荷

## 果樹



⑫県北 ⑬伊達

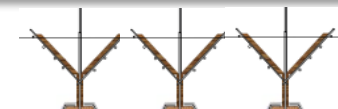
ぶどうの根圏制御栽培・V字型2段仕立てによる早期成園化と省力化  
【効果】単収1t (5年目→2年目)



水稲育苗ハウスを活用したぶどう栽培導入による収益性の向上  
【効果】新たな経営部門の確立

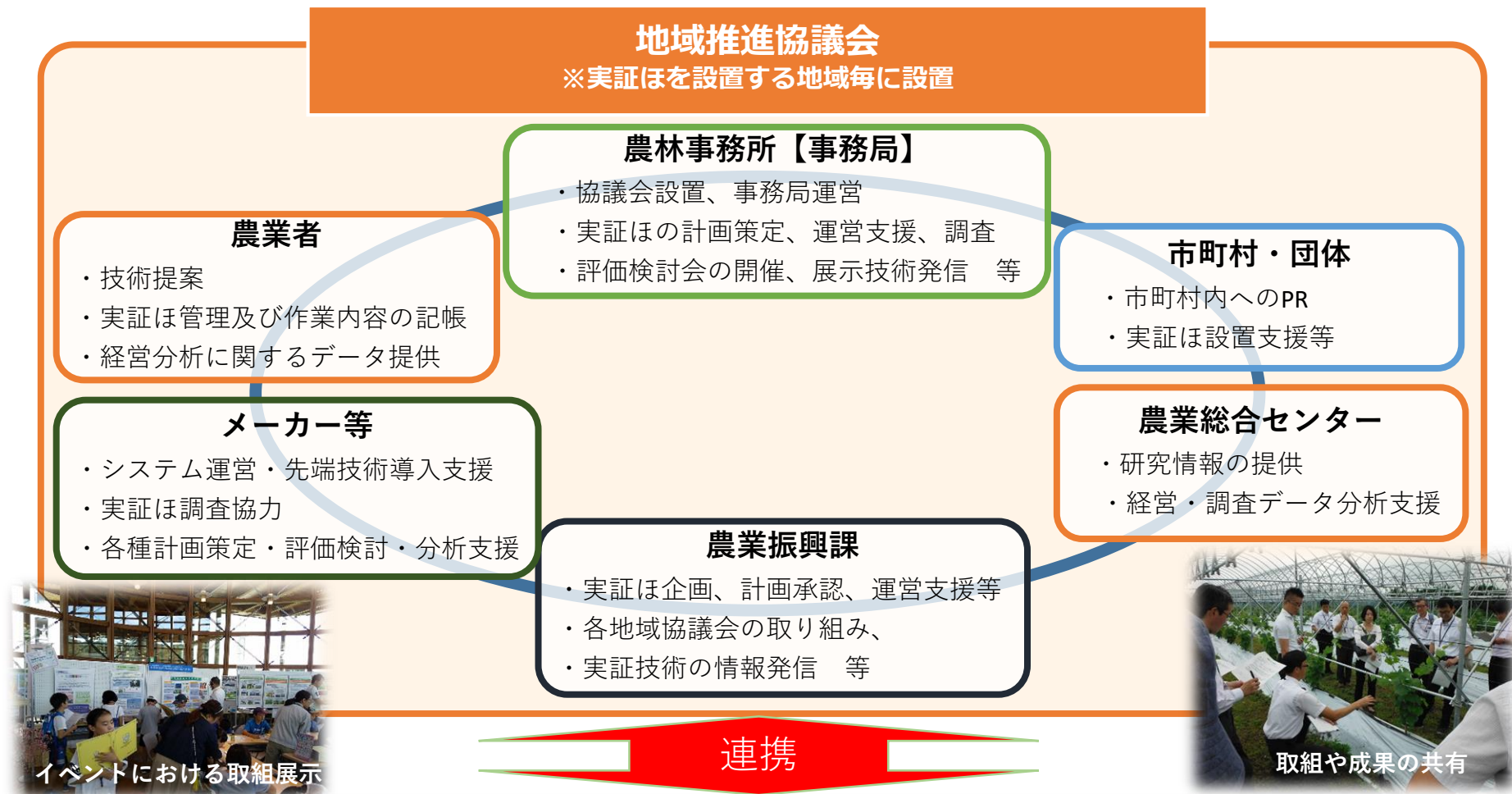


なしのジョイントV字トレリス栽培の導入による早期成園化と省力化  
【効果】慣行単収の5倍 (4年目)



# 事業推進体制

実証ほを設置する農林事務所毎に関係機関・団体、メーカー、農業者等を構成員とする地域協議会を設置し、実証技術の検討、成果の共有・普及を図る



- (1) 構成団体等：J A福島中央会、J A全農福島、各農林事務所（普及部・所）、農業総合センター、部内関係課
- (2) 協議事項：各地域協議会の事業の取組や実証ほの運営等の支援、事業の進行管理、実証ほの評価・検討  
実証結果の情報発信、全県的な普及推進